

認定医 認定試験の概要

1. 認定試験（認定医ポスタープレゼンテーション）の準備

- 学術大会 認定医審査ポスター発表への演題登録を済ませてください。
抄録原稿の作成要領は、大会ホームページおよび学会ホームページで確認すること
- 認定医審査ポスターの作成を進めてください。
申請書類で提出する3症例のうちの1症例（様式7で☑されている症例）でプレゼンテーションして頂きます。

※発表内容（ポスター内容）は抄録作成見本を参考にして、項目をつけてケースプレゼンテーションとして適切な内容（写真および図表含む）を記載してください。

- 発表症例
 - 1) ポスタープレゼンテーションは症例報告に限る。
 - 2) 発表者は、審査を受ける方および指導医の連名とする。
 - 3) 抄録および審査ポスターも含め、指導医の指導のもとに作成すること。
 - 4) 抄録とポスターの内容に齟齬がないよう注意すること。
 - 5) 高齢者の特性に配慮を必要とした理由（口腔内だけでなく全身的、生活的、社会的背景など）を明確にすること。
 - 6) 検査結果や客観的データを十分に準備すること。
 - 7) ポスターのサイズは、発表時の学術大会ポスター発表のレイアウトにしたがって下さい。
演題番号は学術大会で用意します。
 - 8) ポスター内に患者等の個人情報が残らないようにしてください。

2. 認定医試験

- 認定医審査ポスター発表：合計 15 分間（予定）で行います。
 - ・プレゼンテーション 8 分間以内
 - ・口頭試問 7 分程度
（認定医としての診療への取り組みおよび高齢者歯科医療に対する活動目標等を含む）
 - ・口頭試問では主に下記の 6 項目を評価対象とします。
 - 1) 高齢者の特性に配慮を必要とした理由が説明できているか
 - 2) 患者の全身的、生活的、社会的背景を考慮しているか
 - 3) 検査結果など客観的データにもとづいた考察ができていないか
 - 4) 老年歯科医学や高齢者歯科医療の基本的な知識および技術
 - 5) 老年歯科医学や高齢者歯科医療への関わりと姿勢
 - 6) プレゼンテーション

- 筆記試験：
 - ・ポスター発表の内容に関連したもの（問題数 2 問）
（認定医としての診療への取り組みおよび高齢者歯科医療に対する活動目標等を含む）

注) 以上の記載に関わらず、別途、各申請者へ委員会より実施要領の通知（メールまたは文書）があります。試験内容は、実施要領に従ってください。

3. 資格認定

認定医の資格認定は、認定制度委員会で審査の後、理事会において認定します。
その結果については、学会事務局より申請者に文書またはメールにて通知します。